

(新)

第三号様式 (第五条)

(その一)

年 月 日

千葉県知事 様

郵便番号

住 所

氏 名

〔法人その他の団体にあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名〕

自主的取組実績報告書

千葉県揮発性有機化合物の排出及び飛散の抑制のための取組の促進に関する条例（以下「条例」という。）第8条の規定により、自主的取組実績報告を次のとおり提出します。

(ふりがな) 事業者の名称 (自主的取組計画書における名称)		-----		
(ふりがな) 工場又は事業場の名称 (自主的取組計画書における名称)		-----		
(ふりがな) 工場又は事業場の所在地		〒 ー 市 町村		
工場又は事業場において行われる事業が属する主な業種		業 種 名		業種コード
自主的取組実績報告		別添のとおり		
条例第2条第3号の揮発性有機化合物排出事業者の該当の有無		1 有 2 無		
担 当 者 (問い合わせ先)	所 属			
	(ふりがな) 氏 名			
	電 話 番 号		F A X	
※受理年月日	年 月 日	※整理番号		

備考

- ※印の欄には、記載しないこと。
- 自主的取組計画書における名称は、本書に係る自主的取組計画書に記載した名称から変更があった場合のみ記載すること。
- 業種名及び業種コードは、日本標準産業分類の細分類に従って記載し、二以上の業種に属する事業を行う工場又は事業場にあつては、そのうちの主たる業種を記載すること。

(新)

(その二)

工場又は事業場の名称	
------------	--

1 自主的取組対象施設の数及び設置年月

施設の種類	施設の数(基)	施設の種類	施設の数(基)
有機化学工業製品製造施設		洗浄施設	
塗料等製造施設		動植物油脂製造施設	
塗装施設		ドライクリーニング施設	
印刷施設		屋外貯蔵タンク	
接着施設		充填出荷施設	
施設の設置年月		年 月	

備考

- 1 施設の数、自主的取組対象施設の種類ごとの施設の数に記載すること（揮発性有機化合物排出事業者以外の事業者にあつては、主要な揮発性有機化合物を排出する施設について「○」を記載すること。）
- 2 施設の設置年月は、施設の数に記載した施設のうち最も古いものの設置年月を記載すること。
- 2 自主的取組実績の内容
 - (1) 揮発性有機化合物の排出等の量

	基準年度				目標年度			
	年度				平成22年度			
使用量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場合は、 下段に指数表示で記載すること。)								
排出等の量 (kg/年度)								
削減率 (%)								

	計画年度(年度)							
	計画値				実績値			
使用量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場合は、 下段に指数表示で記載すること。)								
排出等の量 (kg/年度)								
削減率 (%)								

備考

- 1 基準年度の欄及び目標年度の欄は、自主的取組計画書に記載した内容を転記すること。
- 2 計画年度は自主的取組計画書を提出した年度とし、計画値は自主的取組計画書に記載した内容を転記すること。
- 3 計画年度の使用量の実績値は、当該年度に工場又は事業場において使用した揮発性有機化合物の量について有効数字2桁で記載すること。
- 4 計画年度の排出等の量の実績値は、当該年度に工場又は事業場から排出及び飛散した揮発性有機化合物の量について有効数字2桁で記載すること（1キログラム未満の場合は、小数点以下第2位を四捨五入して得た数値を記載すること。）。
- 5 計画年度の削減率の実績値は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。

$$\{(\text{基準年度の排出等の量} - \text{計画年度の排出等の量}) / \text{基準年度の排出等の量}\} \times 100$$

(新)

(その四)

工場又は事業場の名称	
------------	--

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- -----
--

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。

(旧)

第三号様式 (第五条)

(その一)

年 月 日

千葉県知事 様

郵便番号

住 所

氏 名

印

〔法人その他の団体にあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名〕

自主的取組実績報告書

千葉県揮発性有機化合物の排出及び飛散の抑制のための取組の促進に関する条例（以下「条例」という。）第8条の規定により、自主的取組実績報告を次のとおり提出します。

(ふりがな) 事業者の名称 (自主的取組計画書における名称)		-----	
(ふりがな) 工場又は事業場の名称 (自主的取組計画書における名称)		-----	
(ふりがな) 工場又は事業場の所在地		〒 ー 市 町村	
工場又は事業場において行われる事業が属する主な業種		業 種 名	業種コード
自主的取組実績報告		別添のとおり	
条例第2条第3号の揮発性有機化合物排出事業者の該当の有無		1 有	2 無
担 当 者 (問い合わせ先)	所 属		
	(ふりがな) 氏 名		
	電 話 番 号		F A X
※受 理 年 月 日	年 月 日	※整理番号	

備考

- ※印の欄には、記載しないこと。
- 個人が提出する場合は、提出者の氏名を自署することにより、押印を省略することができる。
- 自主的取組計画書における名称は、本書に係る自主的取組計画書に記載した名称から変更があった場合のみ記載すること。
- 業種名及び業種コードは、日本標準産業分類の細分類に従って記載し、二以上の業種に属する事業を行う工場又は事業場にあつては、そのうちの主たる業種を記載すること。

(旧)

(その二)

工場又は事業場の名称	
------------	--

1 自主的取組対象施設の数及び設置年月

施設の種類	施設の数(基)	施設の種類	施設の数(基)
有機化学工業製品製造施設		洗浄施設	
塗料等製造施設		動植物油脂製造施設	
塗装施設		ドライクリーニング施設	
印刷施設		屋外貯蔵タンク	
接着施設		充てん出荷施設	
施設の設置年月		年 月	

備考

- 1 施設の数、自主的取組対象施設の種類ごとの施設の数に記載すること（揮発性有機化合物排出事業者以外の事業者にあつては、主要な揮発性有機化合物を排出する施設について「○」を記載すること。）
- 2 施設の設置年月は、施設の数に記載した施設のうち最も古いものの設置年月に記載すること。
- 2 自主的取組実績の内容
 - (1) 揮発性有機化合物の排出等の量

	基準年度				目標年度			
	年度				平成22年度			
使用量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場合は、 下段に指数表示で記載すること。)								
排出等の量 (kg/年度)								
削減率 (%)								

	計画年度(年度)							
	計画値				実績値			
使用量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場合は、 下段に指数表示で記載すること。)								
排出等の量 (kg/年度)								
削減率 (%)								

備考

- 1 基準年度の欄及び目標年度の欄は、自主的取組計画書に記載した内容を転記すること。
- 2 計画年度は自主的取組計画書を提出した年度とし、計画値は自主的取組計画書に記載した内容を転記すること。
- 3 計画年度の使用量の実績値は、当該年度に工場又は事業場において使用した揮発性有機化合物の量について有効数字2桁で記載すること。
- 4 計画年度の排出等の量の実績値は、当該年度に工場又は事業場から排出及び飛散した揮発性有機化合物の量について有効数字2桁で記載すること（1キログラム未満の場合は、小数点以下第2位を四捨五入して得た数値を記載すること。）
- 5 計画年度の削減率の実績値は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。

$$\{(\text{基準年度の排出等の量} - \text{計画年度の排出等の量}) / \text{基準年度の排出等の量} \} \times 100$$

(旧)

(その四)

工場又は事業場の名称	
------------	--

(3) 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成21年度以前	平成22年度	平成23年度以降
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)
C	目標年度の目標達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。